

2026年度大学入学共通テスト志願者数確定

2026年度大学入学共通テスト（以下、共通テスト）の確定志願者数が発表された。志願者数は496,237人で、前年より1,066人増加した（前年比100.2%）。以下、大学入試センターより発表された志願者数の詳細をみていく。

■ 現役生志願者は減少も、既卒生等志願者数は増加

発表された確定志願者数の内訳＜図表1＞をみると、高等学校等卒業見込者（以下、現役生）は420,311人（前年比98.7%）と減少した。今年度より、学校一括の出願から個人によるWEB出願に変わっており、現役生は出願しないという選択をしやすくなつたことが要因とみる。一方、高等学校等卒業者等（以下、既卒生等）の志願者は約7千人増の75,926人（前年比109.7%）と高い増加率を示した。近年、少子化による大学入試の競争緩和が進んでおり、とくに既卒生は昨年まで6年連続で志願者の減少が続いていたが、今年度は増加に転じた。既卒生の内訳をみると、前々年度卒業者（2浪生）の志願者数の増加がとくに目立つ。

このほかの内訳をみると、受験教科数別＜図表2＞では3教科以上受験の志願者数は微増となった一方、2教科以下受験の志願者数は微減となった。私立大専願の受験生を中心とした共通テスト離れの様子がうかがえる。また、成績閲覧を希望する志願者が大幅に増加した＜図表3＞。今年度より共通テスト出願サイトのマイページ上で成績を閲覧できるようになったことが要因だろう。

出身都道府県別で志願者数をみると、宮城県、沖縄県、福岡県、石川県などで志願者が増加した一方、青森県、福島県、岩手県、鳥取県、富山県などで減少した。青森県は現役生、既卒生ともに大きく減少した一方、富山県は既卒生等志願者は大きく増加しており、県によって状況が大きく異なる。

河合塾では共通テスト後に受験生の自己採点結果を集計する「共通テストリサーチ」を実施する。志望校の合格可能性評価をはじめ、さまざまな情報提供を行っているので、受験生にはぜひ参考にしてほしい。

＜図表1＞2026年度 共通テスト志願者数

区分	2026年度	2025年度	前年差	前年比
全体	496,237	495,171	1,066	100.2%
高等学校等卒業見込者（現役生）	420,311	425,968	-5,657	98.7%
高等学校等卒業者（既卒生）	71,310	64,974		
高等専門学校第3学年修了者	166	168		
外国の学校（12年の課程）修了者	533	499		
在外教育施設（高等課程）修了者	51	49		
専修学校高等課程修了者等	101	76		
文部科学大臣の指定した者	25	52		
高等学校卒業程度認定試験合格者等	3,687	3,376		
大学の個別入学資格審査により認定を受けた者	53	9		

※大学入試センター発表資料より（以降、同様）

（参考）高等学校等卒業者の内訳

区分	全体		
	2026	2025	前年比
前年度卒業	45,856	43,956	104.3%
前々年度卒業	12,516	8,633	145.0%
前々々年度以前卒業	12,938	12,385	104.5%

＜図表2＞受験教科別 共通テスト志願者数

区分	全体		
	2026	2025	前年比
3教科以上	482,432	481,213	100.3%
2教科以下	13,805	13,958	98.9%

＜図表3＞成績閲覧希望別 共通テスト志願者数

区分	全体		
	2026	2025	前年比
成績閲覧を希望する者	447,203	409,251	109.3%
成績閲覧を希望しない者	49,034	85,920	57.1%